

平成19年3月期 第1四半期財務・業績の概況(連結)[米国会計基準] 平成18年7月27日

上場会社名 オムロン株式会社

コード番号 6645

(URL <http://www.omron.co.jp/>)

代表者 取締役社長

氏名 作田 久 男

問合せ先責任者 役職名 経営企画室 経理部長

氏名 春田 正 輝

上場取引所: 東・大・名

本社所在都道府県: 京 都 府

TEL(075)344-7070

1. 四半期財務情報の作成等に係る事項

- ①会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無 : 有 引当金等の計上基準に一部簡便的な方法を採用しております。
- ②最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更の有無 : 無
- ③連結及び持分法の適用範囲の異動の有無 : 有 (連結:新規3社、除外0社 持分法:新規0社、除外1社)

2. 平成19年3月期第1四半期財務・業績の概況(平成18年4月1日～平成18年6月30日)

注記: 第1四半期財務・業績の概況および添付資料の金額は百万円未満を四捨五入しています。

(1) 経営成績(連結)の進捗状況

	売上高		営業利益		税引前純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
19年3月期第1四半期	155,414	12.2	9,519	4.6	13,612	58.7
18年3月期第1四半期	138,474	△6.4	9,099	△40.2	8,576	△43.1
(参考)18年3月期	626,782		62,128		64,352	

	四半期(当期)純利益		基本的1株当たり 四半期(当期)純利益		希薄化後1株当たり 四半期(当期)純利益	
	百万円	%	円 銭		円 銭	
19年3月期第1四半期	6,858	33.2	29 24		29 22	
18年3月期第1四半期	5,147	△46.4	21 63		21 62	
(参考)18年3月期	35,763		151 14		151 05	

(注) 売上高、営業利益、税引前純利益、四半期(当期)純利益におけるパーセント表示は、対前年同四半期比増減率

(2) 財政状態(連結)の変動状況

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
19年3月期第1四半期	556,851	360,580	64.8	1,536 68
18年3月期第1四半期	570,334	310,408	54.4	1,304 15
(参考)18年3月期	589,061	362,937	61.6	1,548 07

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
19年3月期第1四半期	6,691	2,324	△ 3,630	58,909
18年3月期第1四半期	8,073	△ 11,560	△ 3,155	70,175
(参考)18年3月期	51,699	△ 43,020	△ 38,320	52,285

3. 平成19年3月期の連結業績予想(平成18年4月1日～平成19年3月31日)

中間期、通期とも平成18年4月26日に公表した予想数値を変更していません。

	予想売上高	予想税引前純利益	予想当期純利益	基本的1株当たり 予想当期純利益
	百万円	百万円	百万円	円 銭
中間期	320,000	22,000	12,500	53 27
通期	700,000	65,000	37,500	159 81

上記連結業績予想の前提条件及びご利用にあたっての注意事項等につきましては、添付資料の5ページをご参照下さい。

(添付資料)

平成19年3月期第1四半期 連結業績概要

連結業績 [米国会計基準]

		第1四半期			通期予想		
		H19/3第1四半期	H18/3第1四半期	(前年同期比)	H19/3期予想	H18/3期	(前期比)
売上高	百万円	155,414	138,474	(112.2%)	700,000	626,782	(111.7%)
営業利益	百万円	9,519	9,099	(104.6%)	63,000	62,128	(101.4%)
(率)	(%)	(6.1%)	(6.6%)	(△0.5P)	(9.0%)	(9.9%)	(△0.9P)
税引前純利益	百万円	13,612	8,576	(158.7%)	65,000	64,352	(101.0%)
(率)	(%)	(8.7%)	(6.2%)	(+2.5P)	(9.3%)	(10.3%)	(△1.0P)
四半期(当期)純利益	百万円	6,858	5,147	(133.2%)	37,500	35,763	(104.9%)
基本的1株当たり 四半期(当期)純利益	円 銭	29円24銭	21円63銭	+7円61銭	159円81銭	151円14銭	+8円67銭
希薄化後1株当たり 四半期(当期)純利益	円 銭	29円22銭	21円62銭	+7円60銭		151円05銭	
自己資本比率 当期純利益	(%)				10.3%	10.7%	(△0.4P)
総資産	百万円	556,851	570,334	(97.6%)		589,061	
純資産	百万円	360,580	310,408	(116.2%)		362,937	
(自己資本比率)	(%)	(64.8%)	(54.4%)	(+10.4P)		(61.6%)	
1株当たり純資産	円 銭	1,536円68銭	1,304円15銭	+232円53銭		1,548円07銭	
営業活動による キャッシュ・フロー	百万円	6,691	8,073	(△1,382)		51,699	
投資活動による キャッシュ・フロー	百万円	2,324	△11,560	(+13,884)		△43,020	
財務活動による キャッシュ・フロー	百万円	△3,630	△3,155	(△475)		△38,320	
現金及び現金同等物 四半期末(期末)残高	百万円	58,909	70,175	(△11,266)		52,285	

- (注) 1. 四半期業績数値については、監査法人によるレビューを受けておりません。
2. 連結子会社数は147社、持分法適用関連会社数は16社です。
3. 平成18年3月期には、厚生年金基金の代行部分返上益 11,915百万円を含みます。
4. 平成19年3月期第1四半期および平成19年3月期予想には、退職給付信託設定益10,141百万円および当社東京本社土地・建物売却損 5,915百万円を含みます。

(添付資料)

1. 経営成績および財政状況

○全般的概況

第1四半期(平成18年4月～6月)の経済情勢を概観しますと、世界経済は原油価格の高騰が続き依然として景気の先行きに不透明感はあるものの、米国経済は堅調な設備投資を背景に引き続き底堅く推移しました。また欧州経済は、景況感の改善が続き、アジア経済も輸出主導の拡大基調が続きました。わが国経済においては、好調な企業業績を背景とした企業収益の改善や、雇用・所得環境の改善に伴う個人消費の底堅い展開など、全体としては着実に景気回復が進みました。

このような経済環境のもと、当第1四半期における当社グループの売上高は、1,554億14百万円(前年同期比12.2%増)となりました。底堅い企業の設備投資需要に支えられ、当社グループの主力であるFA用制御機器およびIT・デジタル関連製品向け業務・民生用機器、車載電装品などの売上が順調に推移した結果、当第1四半期の売上高は、前年同期を上回る結果となりました。また利益面においては、将来の成長のための積極的な投資を行う一方、既存事業の収益構造強化、不断の運営構造改革を進めており、営業利益は95億19百万円(前年同期比4.6%増)となりました。また税引前純利益は退職給付信託設定益101億41百万円および東京本社(東京都港区)の土地建物売却損59億15百万円の計上などにより136億12百万円(前年同期比58.7%増)、四半期純利益は68億58百万円(前年同期比33.2%増)といずれも前年同期を上回りました。

○セグメント別の状況

インダストリアルオートメーションビジネス

国内においては、既存設備の機能高度化を目的とした品質や安全性の向上に対する投資が堅調で、成長戦略事業と位置付けるセーフティ事業や品質ソリューション事業、アプリケーション事業などが着実に売上を伸ばしました。また半導体関連およびデジタル家電関連の設備投資も引き続き堅調で、主力であるFA用制御機器の売上高が前年同期を上回る水準で推移しました。海外においては、北米の売上が堅調に推移し、特に石油、ガス関連事業が売上を伸ばしました。欧州ではインバータやサーボモータ、センサ機器などを中心に好調に売上を伸ばしました。また、高い成長を見込む中国においても、営業力および生産力の増強ならびに新製品の投入などを積極的に行い堅調に推移しました。

以上より、当セグメント合計の当第1四半期における売上高は、718億13百万円(前年同期比11.1%増)となりました。

エレクトロニクスコンポーネンツビジネス

国内においては、半導体市場が回復基調にあり、これに加えFPD生産装置関連でも拡大基調を見せた結果、電子部品市場は好調に推移し、売上高は前年同期を上回りました。海外においては、欧米で一般景気動向も改善する中、特に通信インフラの投資の拡大を受けて通信用リレーの売上が堅調に推移しました。アジアにおける売上高は、モバイル市場、電子部品市場が引き続き拡大しており堅調に推移しました。特に中国においては大型バックライト事業の立ち上げに伴い売上が大きく伸びました。

以上より、当セグメント合計の当第1四半期における売上高は、269億41百万円(前年同期比19.3%増)となりました。

(添付資料)

オートモーティブエレクトロニックコンポーネンツビジネス

世界全体の自動車生産台数は総じて安定的に推移するとともに、自動車の安全、環境に対するカーエレクトロニクスへのニーズは引き続き高く、当セグメントの売上高は堅調に推移しました。エリア別には国内が前年同期水準となったものの、米国においては大幅に伸び、アジアにおいても堅調に推移しました。

以上より、当セグメント合計の当第1四半期の売上高は、214億82百万円（前年同期比22.9%増）となりました。

ソーシャルシステムズビジネス

駅務システム事業では、ICカード対応の改造および機器更新などの需要好調を受け、第2四半期から本格納入をすることから、前年同期を下回る売上となりました。交通管理・道路管理システム事業では交通安全施設補助事業予算の削減などで、売上高は前年同期を下回りました。一方、メンテナンス・サービス事業ではパソコン・サーバーメンテナンス事業が好調に推移し、売上高は前年同期を上回りました。

以上より、当セグメント合計の当第1四半期の売上高は、139億32百万円（前年同期比10.6%減）となりました。

ヘルスケアビジネス

国内外ともに健康志向の高まりが続いており、国内では、電子血圧計や体重体組成計、歩数計などが堅調に推移しました。海外では、北米において主力の電子血圧計の売上が低迷しましたが、欧州においてはロシア、東欧などの新興市場の伸びが牽引役となり電子血圧計を中心に需要が拡大しました。また、アジア圏においては、中国では競争の激化により売上が低迷しましたが、東南アジアでは堅調に推移しました。

以上に加えて、前年6月より連結子会社となったコーリンメディカルテクノロジー株式会社（現オムロンコーリン株式会社）の売上高も寄与し、当セグメント合計の当第1四半期の売上高は、150億57百万円（前年同期比21.5%増）となりました。

その他

その他のセグメントは、主として事業開発本部が新規事業の探索育成と社内カンパニーに属さない事業の育成・強化を担当する領域です。

既存事業では、コンピュータ周辺機器事業が電源機器を中心に好調に推移し、またエンタテインメント事業もプリントシール機連動モバイルサイトの会員数が順調に増加し堅調に推移しました。成長事業ではワイヤレスセンシング事業で絶縁監視機器が好調に推移し、RFID（レイディオ・フリークエンシー・アイデンティフィケーション）機器も国内を中心に需要が伸びました。

以上より、当セグメント合計の当第1四半期の売上高は、61億89百万円（前年同期比6.8%増）となりました。

(添付資料)

○財政状況

総資産は前期末に比べ322億10百万円減少して、5,568億51百万円となりました。また、純資産は前期末に比べ23億57百万円減少し、3,605億80百万円となりました。この結果、自己資本比率は前期末の61.6%から64.8%になりました。

キャッシュ・フローの状況については、営業キャッシュ・フローが前年同期に比べ、四半期純利益は増加したものの、退職給付信託設定益の計上やたな卸資産の増加などにより、66億91百万円の収入（前年同期比13億82百万円の収入減）となりました。投資活動によるキャッシュ・フローは、将来に向けた投資を行った一方で、東京本社の土地建物を売却したことにより、23億24百万円の収入（前年同期比は、前年度において事業の買収を行った影響があり、138億84百万円の収入増）となりました。財務活動によるキャッシュ・フローは、主に配当金の支払いにより、36億30百万円の支出（前年同期比4億75百万円の支出増）となりました。

以上より、現金及び現金同等物の当第1四半期末残高は、前期末に比べ66億24百万円増加し、589億9百万円となりました。

○当期の業績見通し

第2四半期以降の経済環境の見通しは、原油価格の高止まりや原材料価格の高騰、為替変動など依然として景気の先行きについて楽観することはできないものの、底堅い個人消費や堅調な企業の設備投資が期待できることから、緩やかな成長が持続するものと想定されます。

このような中、当社グループの売上高は、当第1四半期においては前年同期を上回り、当初の予想通り推移しており、第2四半期以降も引き続き当初の予想通り推移する見込みです。利益についても、成長に向けた投資に積極的に取り組む一方で、引き続き不断の運営構造改革を推進し、年度方針である「増益基調での成長加速」に努めることにより、当初の予想通り推移する見込みです。

中間期および通期の業績見通しにつきましては、平成18年4月26日発表の通りとし変更は行いません。なお、中間期および通期業績見通しで前提としております第2四半期以降の為替レートは、1米ドル110円、1ユーロ135円です。

業績予想などは、当社が現時点で入手可能な情報と、合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等はさまざまな要因により、これら見通しとは大きく異なることがあります。実際の業績等に影響を与える重要な要因には、(i) 当社の事業領域を取り巻く日本および海外の経済情勢、(ii) 当社製品・サービスに対する需要動向、(iii) 新技術開発・新商品開発における当社グループの能力、(iv) 資金調達環境の大幅な変動、(v) 他社との提携・協力関係、(vi) 為替・株式市場の動向などがあります。なお、業績に影響を与える要因はこれらに限定されるものではありません。

(添付資料)

2. 四半期連結財務諸表等

比較連結損益計算書

(単位：百万円)

科 目	19年3月期第1四半期 自平成18年4月1日 至平成18年6月30日		18年3月期第1四半期 自平成17年4月1日 至平成17年6月30日		増減金額
	金額	百分比	金額	百分比	
		%		%	
売上高	155,414	100.0	138,474	100.0	16,940
売上原価	94,442	60.8	82,538	59.6	11,904
売上総利益	60,972	39.2	55,936	40.4	5,036
販売費及び一般管理費	39,936	25.7	35,312	25.5	4,624
試験研究開発費	11,517	7.4	11,525	8.3	△ 8
営業利益	9,519	6.1	9,099	6.6	420
為替差損－純額－	447	0.3	285	0.2	162
その他費用(△収益)－純額－	△ 4,540	△ 2.9	238	0.2	△ 4,778
税引前純利益	13,612	8.7	8,576	6.2	5,036
法人税等	6,445	4.1	3,446	2.5	2,999
持分法投資損失	176	0.1	－	－	176
少数株主損益	133	0.1	△ 17	△ 0.0	150
四半期純利益	6,858	4.4	5,147	3.7	1,711

- (注) 1. 四半期純利益にその他の包括利益を加えた包括利益(△損失)は、以下のとおりです。
19年3月期第1四半期 △2,836百万円 18年3月期第1四半期 4,606百万円
なお、その他の包括利益には、為替換算調整額、最小退職年金債務調整額、売却可能有価証券未実現損益、デリバティブ純損益の増減額が含まれます。
2. 表示方法の変更
従来、その他費用(△収益)に含めていた持分法投資損失について、19年3月期第1四半期より少数株主損益の直前に表示しています。
なお、18年3月期第1四半期のその他費用(△収益)に含まれる持分法投資損失は1,157百万円です。
3. 19年3月期第1四半期のその他費用(△収益)には、退職給付信託設定益△10,141百万円および当社東京本社土地・建物売却損5,915百万円を含みます。

(添付資料)

比較連結貸借対照表

(単位：百万円)

期別 科目	19年3月期第1四半期 (平成18年6月30日現在)		18年3月期第1四半期 (平成17年6月30日現在)		18年3月期 (平成18年3月31日現在)		増減金額 (19年3月期第1四半期 - 18年3月期)
	金額	構成比 %	金額	構成比 %	金額	構成比 %	
(資産の部)							
流動資産	292,715	52.6	277,915	48.8	292,313	49.6	402
現金及び現金同等物	58,909		70,175		52,285		6,624
受取手形及び売掛金	117,017		106,891		136,348		△ 19,331
たな卸資産	87,433		70,311		74,958		12,475
その他の流動資産	29,356		30,538		28,722		634
有形固定資産	150,827	27.1	155,291	27.2	167,617	28.5	△ 16,790
投資その他の資産	113,309	20.3	137,128	24.0	129,131	21.9	△ 15,822
関連会社に対する 投資及び貸付金	16,769		16,201		16,135		634
投資有価証券	42,706		48,573		62,477		△ 19,771
その他の資産	53,834		72,354		50,519		3,315
資産合計	556,851	100.0	570,334	100.0	589,061	100.0	△ 32,210
(負債の部)							
流動負債	138,269	24.8	146,429	25.7	155,660	26.4	△ 17,391
短期借入金及び一年以内 に返済予定の長期債務	2,864		24,485		2,764		100
支払手形及び 買掛金・未払金	82,738		66,325		85,224		△ 2,486
その他の流動負債	52,667		55,619		67,672		△ 15,005
長期債務	1,182	0.2	2,120	0.4	1,049	0.2	133
その他の固定負債	55,664	10.0	109,893	19.2	68,290	11.6	△ 12,626
少数株主持分	1,156	0.2	1,484	0.3	1,125	0.2	31
負債の部合計	196,271	35.2	259,926	45.6	226,124	38.4	△ 29,853
(資本の部)							
資本金	64,100	11.5	64,100	11.2	64,100	10.9	-
資本剰余金	98,752	17.7	98,726	17.3	98,724	16.7	28
利益準備金	8,094	1.5	7,854	1.4	8,082	1.4	12
その他の剰余金	234,636	42.1	204,492	35.9	227,791	38.7	6,845
その他の包括利益累計額	△ 12,665	△ 2.2	△ 41,550	△ 7.3	△ 2,971	△ 0.5	△ 9,694
自己株式	△ 32,337	△ 5.8	△ 23,214	△ 4.1	△ 32,789	△ 5.6	452
資本の部合計	360,580	64.8	310,408	54.4	362,937	61.6	△ 2,357
負債・資本合計	556,851	100.0	570,334	100.0	589,061	100.0	△ 32,210

(添付資料)

比較連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

科 目	期 別		19年3月期第1四半期		18年3月期第1四半期		増減金額
			自平成18年4月1日 至平成18年6月30日		自平成17年4月1日 至平成17年6月30日		
I 営業活動によるキャッシュ・フロー							
1. 四 半 期 純 利 益			6,858		5,147		1,711
2. 営業活動によるキャッシュ・フローと 四半期純利益の調整							
(1) 減 価 償 却 費		7,928		7,461			
(2) 投資有価証券及びその他の資産の減損		-		201			
(3) 退職給付信託設定益	△	10,141		-			
(4) 受取手形及び売掛金の減少		20,177		16,849			
(5) たな卸資産の増加	△	12,499		△ 416			
(6) 支払手形及び買掛金・未払金の減少	△	3,070		△ 10,643			
(7) そ の 他 (純額)	△	2,562	△ 167	△ 10,526	2,926	△ 3,093	
営業活動によるキャッシュ・フロー			6,691		8,073	△ 1,382	
II 投資活動によるキャッシュ・フロー							
1. 資 本 的 支 出	△	8,739		△ 5,906	△ 2,833		
2. 事業の売却及び買収(純額)		3		△ 8,451	8,454		
3. そ の 他 (純額)		11,060		2,797	8,263		
投資活動によるキャッシュ・フロー			2,324		△ 11,560	13,884	
III 財務活動によるキャッシュ・フロー							
1. 有利子負債の増加		137		213	△ 76		
2. 支払配当金	△	4,230		△ 3,361	△ 869		
3. 自己株式の取得	△	14		△ 8	△ 6		
4. 自己株式の処分		2		1	1		
5. ストックオプションの行使		475		-	475		
財務活動によるキャッシュ・フロー	△	3,630		△ 3,155	△ 475		
IV 換算レート変動の影響			1,239		△ 3,802	5,041	
現金及び現金同等物の増減額			6,624		△ 10,444	17,068	
期首現金及び現金同等物残高			52,285		80,619	△ 28,334	
四半期末現金及び現金同等物残高			58,909		70,175	△ 11,266	

(添付資料)

3. セグメント情報

1. 事業の種類別セグメント情報

19年3月期第1四半期（自平成18年4月1日 至平成18年6月30日）

(単位：百万円)

	インターストリアル オートメーション ビジネス	エレクトロニクス コンポーネンツ ビジネス	オートモティブ エレクトロニクス コンポーネンツ ビジネス	ソーシアル システムズ ビジネス	ヘルスケア ビジネス	その他	計	消去又は 全社	連結
売上高および営業損益									
(1)外部顧客に対する売上高	71,813	26,941	21,482	13,932	15,057	6,189	155,414	—	155,414
(2)セグメント間の内部売上高	1,760	5,338	425	2,780	118	8,633	19,054	△ 19,054	—
計	73,573	32,279	21,907	16,712	15,175	14,822	174,468	△ 19,054	155,414
営業費用	62,270	29,636	22,686	18,462	13,382	14,514	160,950	△ 15,055	145,895
営業利益	11,303	2,643	△ 779	△ 1,750	1,793	308	13,518	△ 3,999	9,519

18年3月期第1四半期（自平成17年4月1日 至平成17年6月30日）

(単位：百万円)

	インターストリアル オートメーション ビジネス	エレクトロニクス コンポーネンツ ビジネス	オートモティブ エレクトロニクス コンポーネンツ ビジネス	ソーシアル システムズ ビジネス	ヘルスケア ビジネス	その他	計	消去又は 全社	連結
売上高および営業損益									
(1)外部顧客に対する売上高	64,642	22,589	17,474	15,579	12,396	5,794	138,474	—	138,474
(2)セグメント間の内部売上高	2,210	4,976	629	2,564	18	9,144	19,541	△ 19,541	—
計	66,852	27,565	18,103	18,143	12,414	14,938	158,015	△ 19,541	138,474
営業費用	56,153	25,262	18,036	20,002	10,867	14,381	144,701	△ 15,326	129,375
営業利益	10,699	2,303	67	△ 1,859	1,547	557	13,314	△ 4,215	9,099

- (注) 1. 「ソーシアルシステムズビジネス」には、ソーシアルシステムズ・ソリューション&サービス・ビジネスカンパニーなどが含まれます。
2. 「その他」には、事業開発本部およびその他の部門が含まれます。

2. 所在地別セグメント情報

19年3月期第1四半期（自平成18年4月1日 至平成18年6月30日）

(単位：百万円)

	国内	北米	欧州	中華圏	東南アジア他	計	消去又は 全社	連結
売上高および営業損益								
(1)外部顧客に対する売上高	85,188	21,984	27,696	11,318	9,228	155,414	—	155,414
(2)セグメント間の内部売上高	27,677	97	277	8,129	2,341	38,521	△ 38,521	—
計	112,865	22,081	27,973	19,447	11,569	193,935	△ 38,521	155,414
営業費用	102,218	22,213	25,433	19,640	10,831	180,335	△ 34,440	145,895
営業利益	10,647	△ 132	2,540	△ 193	738	13,600	△ 4,081	9,519

18年3月期第1四半期（自平成17年4月1日 至平成17年6月30日）

(単位：百万円)

	国内	北米	欧州	中華圏	東南アジア他	計	消去又は 全社	連結
売上高および営業損益								
(1)外部顧客に対する売上高	80,407	16,296	24,124	9,308	8,339	138,474	—	138,474
(2)セグメント間の内部売上高	20,529	40	242	6,869	1,893	29,573	△ 29,573	—
計	100,936	16,336	24,366	16,177	10,232	168,047	△ 29,573	138,474
営業費用	91,528	16,094	22,332	15,887	9,343	155,184	△ 25,809	129,375
営業利益	9,408	242	2,034	290	889	12,863	△ 3,764	9,099

(添付資料)

4. 販 売 の 状 況

比較連結セグメント別売上高明細表

(単位：百万円)

期 別 セグメント別	19年3月期第1四半期 自平成18年4月1日 至平成18年6月30日		18年3月期第1四半期 自平成17年4月1日 至平成17年6月30日		前年同期比
	金 額	構成比	金 額	構成比	
		%		%	%
インタ [®] ストリアルオートメーションビ [®] ジ [®] ネス	71,813	46.2	64,642	46.7	111.1
エレクトロニクスコンポ [®] ーネツビ [®] ジ [®] ネス	26,941	17.3	22,589	16.3	119.3
オートモティブ [®] エレクトロニックコンポ [®] ーネツビ [®] ジ [®] ネス	21,482	13.8	17,474	12.6	122.9
ソーシアルシステムズ [®] ビ [®] ジ [®] ネス	13,932	9.0	15,579	11.2	89.4
ヘルスケア [®] ビ [®] ジ [®] ネス	15,057	9.7	12,396	9.0	121.5
そ の 他	6,189	4.0	5,794	4.2	106.8
合 計	155,414	100.0	138,474	100.0	112.2

(注) ソーシアルシステムズビジネスには、ソーシアルシステムズ・ソリューション&サービス・ビジネスカンパニーなどが含まれます。